

兼任する特定建築物の所有者（全部の管理について権原を有する者）が異なる場合で、

②所有する（全部の管理について権原を有する）特定建築物で既に建築物環境衛生管理技術者として選任している方が、所有して（全部の管理について権原を有して）いない他の特定建築物で新たに建築物環境衛生管理技術者になるとき

兼任確認書(例②)

(建築物所有者等が、建築物環境衛生管理技術者の兼任について業務に支障がないことを確認した書類)

※赤字は記入例

1 建築物環境衛生管理技術者の情報

(氏名) ○○○○	(免状番号) ××××
(住所) 横浜市 ○区 ○○	
建築物環境衛生管理技術者以外の業務がある場合は、その業務に従事する時間	週○日

2 所有して(全部の管理について権原を有して)おり、1の建築物環境衛生管理技術者を既に選任している特定建築物の情報

名称	○○○ビル
所在地	横浜市○区○○○
選任年月日	平成○年○月○日
当該特定建築物の維持管理状況	良好
当該特定建築物において建築物環境衛生管理技術者として従事する時間	週○日

3 所有して(全部の管理について権原を有して)おらず、1の建築物環境衛生管理技術者を新たに選任する特定建築物の情報

名称	△△△ビル
所在地	横浜市△区△△△
選任される年月日	令和△年△月△日
上記の特定建築物における建築物環境衛生管理技術者として従事する時間	週○日

※他の特定建築物所有者等から提供された情報は、本書面と一緒に保存すること

4 特定建築物維持管理権原者の意見聴取の有無 (有) ・ 無)

特定建築物維持管理権原者の氏名	株式会社□□ 代表取締役 □□ □□	意見聴取した年月日	○年○月○日
-----------------	-----------------------	-----------	--------

※所有者等の他に特定建築物維持管理権原者がいない場合は、欄外の「無」に○を記載する。

※特定建築物維持管理権原者の意見は本書面とは別に作成し、本書面と一緒に保存すること。

1の建築物環境衛生管理技術者が、2及び3の特定建築物を兼任するにあたって、業務の遂行に支障がないことを確認した。

○年○月○日 ○○株式会社

代表取締役 ○○ ○○

(特定建築物所有者等氏名)

○年○月○日 ○○ ○○

(建築物環境衛生管理技術者氏名)

※本様式は「例」ですので、兼任する特定建築物の数が多い場合は適宜欄を追加する等修正して使用してください。